

非ホジキンリンパ腫 1st Line (初発・限局期、初発・進行期、再発) R-CHOP療法

患者ID : @PATIENTID 1 コース目
 患者氏名 : @PATIENTNAME 1コース : 21日間 目標 : 6~8コース

身長 (cm)	体重 (kg)	体表面積 (m ²)	
HEIGHT01_Do	WHEIGHT01_Do	#VALUE!	アルコールアレルギーの有無

使用薬剤 : リツキシマブ (Rituximab) : リツキシマブBS注 100mg/10mL/V、500mg/50mL/V
 ドキソルビシン (ADM) : ドキソルビシン塩酸塩注射用 10mg/V、50mg/V
 ビンクリスチン (VCR) : ビンクリスチン注 1mg/V
 シクロホスファミド (CPA) : シクロホスファミド注 100mg/V、500mg/V
 プレドニゾロン (PSL) : 20mg/A、10mg/A、プレドニン錠 5mg
 エトポシド (VP-16) : エトポシド点滴静注液 100mg/5mg/V

使用基準 : CD20陽性のB細胞性非ホジキンリンパ腫

- ※ **Infusion reaction**に要注意。リツキシマブBS投与時はモニターによるバイタルチェックを推奨。
 重度のInfusion reaction(低酸素血症、肺浸潤、急性呼吸促拍症候群、心筋梗塞、心室細動、心原性ショック)の発現の報告が**初回の投与中又は投与開始後24時間以内**に多い。約90%の患者で初回投与時に発現。
- ※ **腫瘍崩壊症候群**に要注意 (血液中に大量の腫瘍細胞のある患者で初回投与後24時間以内に高頻度)
 腎不全、高K血症、低Ca血症、高尿酸血症、高Al-P血症
- ※ Hbc抗体測定し、陽性ならTaqMan HBV検査までおこなうこと
- ※ ビンクリスチン 最大投与量 ; 2mg/bodyを越えないこと
- ※ プレドニン B型肝炎 ; 核酸アナログ製剤を併用、糖尿病 ; 減量もしくは中止
- ※ 65歳以上ではR-THP-COPへの変更を考慮すること
- ※ 日和見感染症に注意。胃潰瘍 (PPIなど)、口内炎、便秘の予防について考慮すること

薬剤	投与量	計算値	投与量 (mg)	投与日
リツキシマブBS	375 mg/m ²	#VALUE!		1
ドキソルビシン	50 mg/m ²	#VALUE!		2
ビンクリスチン	2.0 mg/body		2.00	2
シクロホスファミド	750 mg/m ²	#VALUE!		2
プレドニン	100 mg/body		100	2 ~ 6
エトポシド	100 mg/m ²	#VALUE!		2 ~ 4

注 ; 入院はCHOP 1日前、外来は当日CHOPの前に投与

<< タイムスケジュール >> リツキシマブBS、CHOPの開始時刻を別々に入力してください
※記載している時刻は例です。当日の投与予定時刻ではありませんのでご注意ください。

開始日 (Day1) ; 1月1日 (金) 注 ; リツキシマブBS : 入院はCHOP 1日前、外来はDay 1に投与

点滴前内服

①	カロナール錠 200mg 2T	1 x (1)
②	ポララミン錠 2mg 1T	1 x (1)

0時00分 1 生理食塩液 100mL + サクシゾン 300mg
30分で点滴静注

0時30分	2	5%ブドウ糖液	0mL
		+ リツキシマブBS注	0mg 0.0mL

- ↓ 50mL/hrで30分点滴静注
- ↓ 患者の状態を観察しながら、30分毎に50mL/hrずつ上げることができる
- ↓ 最大400mL/hrまで上げることができる
- 徐々に投与速度を上げて点滴静注
- ※下記は2回目以降の投与
- ↓ 100mL/hrで30分点滴静注
- ↓ 患者の状態を観察しながら、30分毎に100mL/hrずつ上げることができる
- ↓ 最大400mL/hrまで上げることができる

②終了後 3 生理食塩液 50mL
フラッシュ

Day 2 1月2日 (土)

0時00分	1	生理食塩液 50mL + グラネセロン 1 A + プレドニン注	100mg
		15分で点滴静注	
0時15分	2	生理食塩液 50mL + ドキソルビシン注	0mg
		全開 (10分以内) で点滴静注	
0時25分	3	生理食塩液 50mL + ビンクリスチン注	2.00mg
		全開 (5分以内) で点滴静注	
0時30分	4	生理食塩液 50mL	
		5分で点滴投与 (全開)	
0時35分	5	生理食塩液 250mL + シロホスファミド注	0mg
		2時間で点滴静注	
2時35分	6	生理食塩液 500mL + エトポシド	0mg
		90分で点滴静注	0.0mL
4時05分	7	生理食塩液 50mL	
		フラッシュ	

Day 3 ~ 4 1月3日 (日) ~ 1月4日 (月)

0時30分	①	生理食塩液 50mL + グラネセロン 1 A + プレドニン注	100mg
		15分で点滴静注	
0時45分	②	生理食塩液 500mL + エトポシド	0mg
		90分で点滴静注	0.0mL
2時15分	③	生理食塩液 50mL	
		フラッシュ	

Day 5 ~ 6 1月5日 (火) ~ 1月6日 (水)

内服 ① プレドニン錠 5mg 20錠 2 x (2) 朝・昼食後

REFERENCE

Michael Pfreundschuh, Lorenz Trumper, Ander Osterborg, et al : Lancet Oncol;7:379-91 2006
CHOP-like chemotherapy plus rituximab versus CHOP-like chemotherapy alone in young patients with good-prognosis diffuse large-B-cell lymphoma: a randomised controlled trial by the MabThera International Trial (MINT) Group
2011年9月度化学療法プロトコール審査委員会承認 : 2011年9月12日 更新: 2018年9月10日